

第19回日本RNA学会年会 ポスターセッション

ポスターセッション(1) 奇数番号発表：7月19日(水) 13:15~14:45

ポスターセッション(2) 偶数番号発表：7月20日(木) 13:00~14:30

P-1-----学

基本転写因子による転写開始から伸長への移行の制御機構解析

○福岡 瑞希¹、田中 亜紀¹、平山 翼¹、廣瀬 豊¹、大熊 芳明²

(¹富山大院・医学薬学研究部(薬)、²長崎大院・医歯薬総合研究科)

P-2-----学

試験管内再構成系を用いたヒトメディエーター複合体 Kinase モジュールの機能解析

○原子 空¹、林 裕人¹、藤田 智陽¹、飯田 智¹、廣瀬 豊¹、大熊 芳明²

(¹富山大院・医学薬学研究部(薬)、²長崎大院・医歯薬総合研究科)

P-3-----学

ヒトメディエーター複合体 Kinase モジュール構成サブユニット CDK8/19 の新規結合因子の同定

○藤田 智陽¹、安倍 光姫¹、山崎 愛実¹、深澤 力也¹、廣瀬 豊¹、大熊 芳明²

(¹富山大院・医学薬学研究部(薬)、²長崎大院・医歯薬総合研究科)

P-4-----学

ユビキチン様ドメインを有する Pol II-CTD 脱リン酸化酵素による遺伝子発現制御

和仁 翔太郎^{1,2}、○加藤 ありさ¹、加納 未由希¹、石黒 尋保¹、杉田 愛¹、田渕 圭章³、佐藤 崇之¹、甲斐田 大輔¹、大熊 芳明^{1,4}、廣瀬 豊¹

(¹富山大院・医学薬学研究部、²東京医科歯科大学・遺伝子発現制御、³富山大・生命科学先端研究支援ユニット、⁴長崎大院・医歯薬総合研究科・生化学)

P-5-----学

植物における転写開始点のゆらぎと環境ストレス応答性翻訳制御の関係性に関する研究

○糸川 嘉則¹、松浦 秀幸¹、岸田 百世¹、高橋 弘喜²、御田 洋介¹、山崎 将太郎³、原田 和生¹、加藤 晃³、平田 収正¹

(¹大阪大学、²千葉大学、³奈良先端科学技術大学院大学)

P-6-----

RNA 結合タンパク質 Sfpq は骨格筋成長に必須である超長鎖遺伝子の発現を制御する

○細川 元靖^{1,2}、武内 章英¹、谷端 淳^{2,3}、飯田 慶¹、武田 伸一²、萩原 正敏¹

(¹京大・院医、²精神・神経研究セ・遺伝子疾患、³慈恵医大・細胞生理)

P-7-----ⓧ

転写活性と共役した選択的ポリ(A)付加調節の分子機構

○寺田 公介¹、畑山 光¹、西村 和也¹、竹田 深雪¹、大熊 芳明^{1,2}、廣瀬 豊¹
(¹富山大・院・医学薬学研究部、²長崎大院・医歯薬総合研究科(医)・生化学)

P-8-----

Trypanosome mRNA recapping activity is modulated by hypermethylation derived from cap 4 structure

Anna V. Ignatochkina¹, Jesavel Iguchi¹, Anilkumar R. Kore² and ○C. Kiong Ho¹
(¹University of Tsukuba University, ²Thermo Fisher Scientific)

P-9-----ⓧ

A-to-I RNA 編集により誘起するグアニン四重鎖構造

○野口 龍磨¹、佐藤 慎一²、勝田 陽介³、片平 正人⁴、山置 佑大⁴、福田 将虎¹
(¹福岡大・理・化学、²京大・化研、³熊本大院・先端科学、⁴京大・エネ研)

P-10-----

RNA ヘリケースによる A-to-I RNA エディティングのエピトランスクリプトーム制御

○岡田 俊平¹、野口 英樹²、光山 統泰³、矢野 孝紀¹、櫻井 雅之¹、豊田 敦⁴、藤山 秋佐夫⁴、鈴木 勉¹
(¹東大・工・化学生命工学、²遺伝研・先進ゲノミクス、³産総研・人工知能、⁴遺伝研・生命情報)

P-11-----ⓧ

好熱好酸性古細菌 *Thermoplasma acidophilum* Trm56 の分析

長谷川 貴洋¹、○福本 修平¹、河村 卓哉¹、堀 弘幸¹
(¹愛媛大学)

P-12-----

好熱好酸性古細菌 *Thermoplasma acidophilum* のアーケオシン tRNA グアニントランスグリコシラーゼは、tRNA の 13 位、15 位のグアニンに作用するマルチサイト特異性酵素である

河村 卓哉¹、平田 章¹、大野 敏²、能村 友一朗²、長野 倫子¹、行木 信一³、横川隆志²、○堀 弘幸¹
(¹愛媛大学、²岐阜大学、³群馬大学)

P-13-----

好熱性アーキアにおけるアセチルシチジン修飾は tRNA の耐熱性に寄与する

○大平 高之¹、陳 明皓²、栗橋 泰子²、山内 理恵¹、伊藤 理¹、金子 瑛³、折田 和泉³、福居 俊昭³、鈴木 健夫¹、姚 閔²、田中 良和⁴、鈴木 勉¹
(¹東京大学、²北海道大学、³東京工業大学、⁴東北大学)

- P-14-----
硫黄転移が関与する Cyclic N⁶-threonylcarbamoyladenosine (ct⁶A)生合成機構の解明
○宮内 健常¹、坂下 卓矢¹、木村 聡¹、沼田 倫征²、鈴木 勉¹
(¹東大院・工・化学生命工学、²産総研・バイオメディカル研究部門)
- P-15-----
棘皮動物ミトコンドリアにおける変則遺伝暗号の確立に寄与する新規修飾塩基の発見とその機能解析
○長尾 翌手可¹、小原 光弘¹、宮内 健常¹、横堀 伸一²、山岸 明彦²、渡辺 公綱²、鈴木 勉¹
(¹東京大学大学院工学系研究科化学生命工学専攻、²東京薬科大学)
- P-16-----
哺乳類ミトコンドリア tRNA^{Met}の5-ホルミルシチジン修飾の生合成と生理的機能
○鈴木 健夫、川原田 礼以良、中野 沙緒里、大平 高之、岩田 紘宜、浅野 奏、平田 翔児、宮内 健常、鈴木 勉
(東大院・工)
- P-17-----
リン酸化 CTD 結合因子 PCIF1 による遺伝子発現調節機構の解明
○杉田 愛¹、伊藤 志帆¹、柳澤 奈月¹、石黒 尋保¹、佐藤 崇之¹、田淵 圭章²、大熊 芳明³、廣瀬 豊¹
(¹富山大院・医学薬学教育部 (薬)、²富山大・生命科学先端研究支援ユニット、³長崎大院・医歯薬総合研究科)
- P-18-----
C-MYC イントロン1 は U6 snRNP の阻害に強い抵抗性を示す
○菊池 啓、石田 健、安川 めぐみ、甲斐田 大輔
(富山大学・医学部)
- P-19-----
RNA 結合タンパク質の過剰発現はスプライシング異常による転写抑制を解除する
○林 めぐみ¹、古賀 光徳¹、片岡 直行²、甲斐田 大輔¹
(¹富山大学大学院医学薬学研究部 (医学)、²東京大学大学院農学生命科学研究科)
- P-20-----
ANALYSIS OF SPLICING INHIBITION IN GENE REGULATION
○Chhipi Shrestha J.K.^{1,2}, Schneider-Poetsch T.¹, Iwasaki S.³, Yoshida M.^{1,2}
(¹Chemical Genetics Laboratory, RIKEN, ²Laboratory of Microbiology, Department of Biotechnology, The University of Tokyo, ³RNA Systems Biochemistry Laboratory, RIKEN)

- P-21-----
RS 繰り返し配列を持つ RNA 結合タンパク質の局在解析
○辰野 貴則¹、石垣 靖人¹
(¹金沢医科大学 総合医学研究所)
- P-22-----
神経分化に伴う SUMO 化修飾状態の変化は、核局在性 RNA 結合タンパク質 NONO の核外移行を誘導する
○古川 真理¹、井上 邦夫¹
(¹神戸大学大学院)
- P-23-----
イントロンリテンションを介した Chtop の自己発現制御機構
○泉川 桂一¹、石川 英明¹、吉川 治孝²、磯辺 俊明³、高橋 信弘¹
(¹東京農工大学、²ダンディー大学 (英)、³首都大学東京)
- P-24-----
CHERP による選択的 mRNA スプライシングの制御機構 (学)
○山中 靖貴¹、増田 誠司¹
(¹京都大学)
- P-25-----
***C. elegans* 代謝関連遺伝子のスプライシング制御における食餌の影響**
○和仁 翔太郎、黒柳 秀人
(東京医科歯科大・難研)
- P-26-----
Alternative Splicing of Pentatricopeptide Repeat (PPR) Family Genes in *Arabidopsis thaliana* (学)
○Umme Qulsum^{1,2}, John Munene¹, Toshifumi Tsukahara¹
(¹School of Materials Science, Japan Advanced Institute of Science and Technology.
²Dept. of Botany, Faculty of Life and Earth Sciences, University of Rajshahi)
- P-27-----
組織特異的スプライシングにおける性ホルモンと Y 染色体による共制御
○盛 真友^{1,2}、松本 高広¹、塚原 俊文²
(¹徳島大学、²北陸先端科学技術大学院大学(JAIST))
- P-28-----
インスリン受容体 RNA の組織特異的な選択的スプライシング機構の解析 (学)
○名倉 敬仁、尾添 敦文、成田 佑果、太田 一実、千田 和広、伯野 史彦、片岡 直行、高橋 伸一郎
(東京大学)

- P-29-----
Identification of RNA helicase used in U snRNA export
○Ichiro Taniguchi and Mutsuhito Ohno
(Institute for Frontier Life and Medical Sciences, Kyoto University)
- P-30-----
多様化した DEAD box helicases である UAP56 と URH49 による選択的 mRNA 輸送を司る分子基盤
○藤田 賢一¹、入江 みどり¹、原田 光太郎¹、増田 誠司¹
(¹京都大学大学院 生命科学研究科)
- P-31-----
Systematic analysis of hnRNP C domains in sorting RNA polymerase II transcripts
○Sayaka Dantsuji¹, Ichiro Taniguchi², Mutsuhito Ohno²
(¹ Graduate School of Science, Kyoto University, ²Institute for Frontier Life and Medical Sciences, Kyoto University)
- P-32-----
100S リボソーム形成因子 RMF の機能部位解析
○吉田 秀司¹、中山 秀喜²、牧 泰史¹、古池 晶¹、上田 雅美³、和田 千恵子³、和田 明³
(¹大阪医科大学、²堀場製作所、³吉田生物研究所)
- P-33-----
新規古細菌リボソーム結合因子 aYchF の tRNA に依存する機能に関する研究
○青木 彩香¹、今井 大達²、村田 菜摘²、伊東 孝祐¹、内海 利男¹
(¹新潟大・理・生物、²新潟大・院・自然研)
- P-34-----
高濃度ハウ素存在下によって最小 open reading frame で停止したリボソームの生化学的解析
○田中 真幸¹、横山 武司²、重松 秀樹²、笠井 光治¹、竹本 千重²、内藤 哲^{3,4}、白水 美香子²、藤原 徹¹
(¹東大院・農、²理研・CLST³、北大院・生命、⁴北大院・農)
- P-35-----
バクテリアにおける uORF 翻訳を介した凝集体蓄積の感知機構の解析
○三輪 つくみ¹、茶谷 悠平²、田口 英樹²
(¹東京工業大学 生命理工学院、²東京工業大学 科学技術創生研究院)
- P-36-----
リボソーム生合成に必須な AAA+タンパク質 Midasin の生化学的解析及び低分子阻害剤の同定
○川島 茂裕^{1,2}, Zhen Chen², 青井 勇樹¹, 小林 由紀¹, Tarun M. Kapoor²
(¹東京大学大学院薬学系研究科,²The Rockefeller University)

- P-37-----
***in vitro* 翻訳システムを用いた miRNA による翻訳制御分子機構の解析**
○深尾 亜喜良¹、友廣 拓生¹、大塚 衆志²、青山 智彦¹、船上 仁範¹、足達 俊吾³、夏目 徹³、藤原 俊伸¹
(¹近畿大 薬学部、²東京大 新領域、³産業技術総合研究所)
- P-38-----
ARE 結合タンパク質 AUF1 による遺伝子発現制御機構の解析
○西阪 皓理¹、松木 香菜子¹、大塚 衆志²、深尾 亜喜良¹、船上 仁範¹、藤原 俊伸¹
(¹近畿大学 薬学部、²東京大学 新領域)
- P-39-----
ポリアミンで誘導される+1 翻訳フレームシフトの新規分子機構
○小黒 明広¹、重田 友明²、岩本 武夫¹、今高 寛晃²、松藤 千弥¹
(¹東京慈恵会医科大学、²兵庫県立大学)
- P-40-----
A-to-I RNA 編集による翻訳開始点の生成
○星野 莉奈、野瀬 可那子、福田 将虎
(福岡大・理・化学)
- P-41-----
新生鎖依存的な翻訳停止配列の探索
○藤田 智也¹、茶谷 悠平¹、中東 憲治²、丹羽 達也¹、岩崎 信太郎³、田口 英樹¹
(¹東京工業大学、²Spiber 株式会社、³理化学研究所)
- P-42-----
BRF1 による mRNA 分解と共役した翻訳抑制機構の解析
○大塚 衆志¹、武知 美和²、深尾 亜喜良³、船上 仁範³、藤原 俊伸³
(¹東京大学 新領域、²京都大学 ウイルス研、³近畿大学 薬学部)
- P-43-----
YTH ドメインタンパク質 Mmi1 は減数分裂 mRNA を核内で凝集させ翻訳を抑制する
○七野 悠一^{1,3}、山本 正幸^{1,2}、山下 朗^{1,2}
(¹基礎生物学研究所、²総研大・生命科学・基礎生物学、³理化学研究所)
- P-44-----
ナンセンス変異依存異常 mRNA 由来の短鎖型タンパク質分解促進機構の解析
○杉山 誉人¹、信田 理沙¹、安藤 功穰¹、松木 泰子¹、稲田 利文¹
(¹東北大院・薬)

P-45-----

Ubiquitination of Stalled Ribosome Triggers Ribosome-associated Quality Control

○ Yoshitaka Matsuo¹, Ken Ikeuchi¹, Yasushi Saeki², Shintaro Iwasaki^{3,5}, Christian Schmidt⁴, Tsuyoshi Udagawa¹, Fumiya Sato¹, Hikaru Tsuchiya², Thomas Becker⁴, Keiji Tanaka², Nicholas T. Ingolia³, Roland Beckmann⁴ and Toshifumi Inada¹

(¹Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Tohoku University, Sendai 980-8578, Japan.²Laboratory of Protein Metabolism, Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science, Setagaya-ku, Tokyo 156-8506, Japan.³Department of Molecular and Cell Biology, University of California, Berkeley, CA94720, United States.⁴Gene Center and Center for integrated Protein Science Munich, Department of Biochemistry, Feodor-Lynen-Str. 25, University of Munich, 81377 Munich, Germany.⁵Current address: RIKEN, Saitama 351-0198, Japan)

P-46-----

翻訳停滞に起因する mRNA 分子内切断 NGD とタンパク質品質管理機構 RQC の相関解析

○池内 健¹、松尾 芳隆¹、稲田 利文¹

(¹東北大学大学院薬学研究科)

P-47-----

U snRNP 生合成過程における品質管理機構

○石川 英明^{1,2}、泉川 桂一^{1,2}、延 優子^{2,3}、磯辺 俊明^{2,3}、高橋 信弘^{1,2}

(¹東京農工大、²CREST、³首都大学東京)

P-48-----

酵母 *HAC1* mRNA の安定化・翻訳再開に関与する tRNA ligase, Rlg1 の遺伝的解析

○吉見 理子、山本 智加、吉久 徹

(兵庫県立大学 大学院生命科学研究科)

P-49-----

CNOT1 regulation of eukaryotic circadian clock through post-transcriptional mechanisms.

○Haytham M.A Mohamed¹, Akinori Takahashi¹, Tadashi Yamamoto¹.

(¹Cell Signal Unit, Okinawa Institute of Science and Technology Graduate School)

P-50-----

シロイヌナズナ CCR4-NOT 複合体を構成する脱アデニル化酵素とその標的認識に関わる RNA 結合タンパク質の同定

○荒江 星拓¹、鈴木 悠也¹、千葉 由佳子^{1,2,3}

(¹北大院・生命、²北大院・理、³JST・さきがけ)

P-51-----

SMG1 は Regnase-1 経路を介して炎症性 mRNA を制御する

○三野 享史¹、岩井 紀貴¹、赤木 宏太郎¹、山下 暁朗²、竹内 理¹

(¹京都大学ウイルス・再生医科学研究所、²横浜市立大学医学研究科)

P-52-----ⓧ

Escort-1 による炎症性サイトカインの発現制御

○矢野 雄暉、千葉 朋希、阿部 健太郎、浅原 弘嗣
(東京医科歯科大学)

P-53-----

演題取り下げ

P-54-----ⓧ

Exploring the RNA Regulative Landscape via Codon Optimality

○Fabian HIA¹, Osamu TAKEUCHI¹
(¹ University of Kyoto, Institute for Frontier Life and Medical Sciences, Department of Virus Research, Laboratory of Infection and Prevention)

P-55-----

ショウジョウバエ個体を用いた *gw182* 遺伝子の機能解析

○松浦 絵里子¹、泊 幸秀¹
(¹東京大学分子細胞生物学研究所)

P-56-----

ゼニゴケの PARN はミトコンドリア mRNA ポリ A 鎖長を制御する

金澤 まい¹、池田 陽子²、西浜 竜一³、山岡 尚平³、大和 勝幸⁴、河内 孝之³、
○平山 隆志^{1,2}
(¹岡大・院環境生命、²岡大・植物研、³京大・院生命科学、⁴近畿大・院・生物理工)

P-57-----

自閉症患者血液サンプル RNA-seq 解析により明らかになったイントロン領域における発現変動

○豊島 裕美¹、飯田 慶¹、木村 亮¹、船曳 康子^{2,3}、萩原 正敏¹
(¹京都大学大学院 医学研究科、²京都大学大学院 人間・環境学研究科、³京都大学医学部附属病院 精神科神経科)

P-58-----

胃がん発生に関与する長鎖 non-coding RNA の同定

○北嶋 洋志¹、丸山 玲緒²、山本 英一郎^{1,3}、新沼 猛¹、甲斐 正広¹、
仲瀬 裕志³、時野 隆至⁴、鈴木 拓¹
(¹札幌医大・医・分子生物学、²がん研・がん研究所・エピゲノム、³札幌医大・医・消化器内科学、⁴札幌医大・医・フロンティア研・ゲノム)

P-59-----

結核菌感染マクロファージにおける lncRNA の発現動態

ロイ スガタ^{1,2}, シューマイヤー セバスチャン³, カチュコースキー ボグミル^{1,2},
アーナー エリック^{1,2}, アラム タンビル⁴, パイハー スラジ^{5,6}, オチュルク ムー
ミン^{5,6}, タング オスマン^{5,6}, 川路 英哉^{1,2,7}, 伊藤 昌可^{1,2,7}, ラスマン ティモ^{1,2},
カルニンチ ピエロ^{1,2}, 林崎 良英^{2,7}, フォレスト アリスター^{1,2}, グラー レトー^{5,6},
バジック ウラジミル⁴, ブロムバッハー フランク^{5,6}, ○鈴木 治和^{1,2}

(¹理研 CLST, ²理研 OSC, ³Massey Univ, ⁴KAUST, ⁵ICGEB, ⁶Cape Town Univ, ⁷理研 PMI)

P-60----- (学)

ショウジョウバエ Lobe-less RNA は胚発生期の軸索走行シグナルを制御している

稲垣 幸¹, ○中野 美幸², 中村 奈月², 門田 満隆³, Sean D. Keeley³,
佐藤 昌直⁴, 工樂 樹洋³, 影山 裕二^{1,2}

(¹神戸大・バイオ, ²神戸大院・理, ³理研・CLST, ⁴北大・農)

P-61----- (学)

lncRNA の組織特異的な発現に関与する Transposable Element の同定

○千島 崇史^{1,2}, 岩切 淳一³, 浜田 道昭^{1,2,4}

(¹早稲田大学, ²産総研-早稲田 CBBB-OIL, ³東京大学, ⁴日本医科大学)

P-62-----

LINC00152 及び MALAT1 は近傍の遺伝子発現を制御する

○谷 英典¹, 奥田 彩也夏^{1,2}, 中村 薫¹, 青木 元秀², 梅村 知也²

(¹産業技術総合研究所, ²東京薬科大学)

P-63-----

Unusual semi-extractability as a hallmark of nuclear body-associated architectural long noncoding RNAs

○Takeshi Chujo¹, Tomohiro Yamazaki¹, Tetsuya Kawaguchi¹, Satoshi Kurosaka², Toru Takumi², Shinichi Nakagawa¹, Tetsuro Hirose¹

(¹Hokkaido University, ²RIKEN Brain Science Institute)

P-64-----

癌細胞種により、異なる RNA ポリメラーゼ転写産物が競合的に DBC1 核内構造体の足場となる

○萬年 太郎^{1,2}, 山下 征輔³, 富田 耕造³, 五島 直樹⁴, 廣瀬 哲郎²

(¹立命館大・生命科学, ²北大・遺制研, ³東大院・新領域, ⁴産総研・創薬プロ)

P-65----- (学)

核内構造体パラスペックル内の NEAT1 lncRNA の空間的配置を規定する分子メカニズムの解明

○吉野 彪羅、山崎 智弘、廣瀬 哲郎

(北大・遺制研)

P-66-----ⓧ

Conformational change detection of translocated in liposarcoma, TLS, upon binding to various RNAs

○Nesreen Hamad^{1,2}, Tsukasa Mashima^{1,2}, Yudai Yamaoki¹, Keiko Kondo¹, Riki Kurokawa³, Takashi Nagata^{1,2}, Masato Katahira^{1,2}

(¹Inst. of Adv. Energy, Kyoto Univ., ²Grad. Sch. of Energy Sci., Kyoto Univ., ³RCGM, Saitama Medical Univ.)

P-67-----

Ribosome profiling reveals the plurality of ribosome-associated long non-coding RNAs in mammals

○Chao Zeng¹, Tsukasa Fukunaga², Michiaki Hamada^{1,2,3}

(¹ Computational Bio Big Data Open Innovation Laboratory (CBBBD-OIL), National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST), ² Department of Electrical Engineering and Bioscience, Faculty of Science and Engineering, Waseda University, ³ Nippon Medical University)

P-68-----

分裂酵母グルコース飢餓ストレス応答性アンチセンス RNA の発現制御

○三木 敦子¹、ジョゼフィーヌ ガリボン²、澤井 哲¹、稲田 利文³、太田 邦史¹
(¹東京大学、²慶應義塾大学、³東北大学)

P-69-----ⓧ

マウス神経芽細胞腫 Neuro-2A 細胞の神経様分化における環状 RNA 発現変化

○黒木 大海¹、菊池 洋²、梅影 創¹
(¹豊橋技術科学大学、²早稲田大先進理工)

P-70-----

***in vivo* レポーターアッセイによるオオミジンコの性決定遺伝子 *dsx1* を制御する long noncoding RNA の作動エレメントの探索**

○加藤 泰彦¹、Nong Dang Quang¹、渡邊 肇¹
(¹大阪大学)

P-71-----

piRNA 生合成経路による mRNA 分解制御

○石津 大嗣¹、塩見 美喜子¹
(¹東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻)

P-72-----ⓧ

ショウジョウバエ piRNA 生合成因子 Yb の機能解析

○平形 樹生¹、石津 大嗣¹、塩見 美喜子¹
(¹東京大学大学院理学系研究科)

- P-73-----
Essential function of Panoramix/Silencio-Nxf2 complex in the *Drosophila* Piwi-piRNA pathway
○Kensaku Murano¹, Yuka W. Iwasaki¹, Akane Mashiko^{1,2}, Haruhiko Siomi¹
(¹Department of Molecular Biology, Keio University School of Medicine, ²Department of Materials Science and Engineering, Yokohama National University)
- P-74-----(学)
苔類ゼニゴケにおける miR319 の機能解析
○二神 和敬¹、都筑 正行²、濱田 隆宏¹、渡邊 雄一郎¹
(¹ 東京大学大学院総合文化研究科、² Department of Molecular, Cellular and Developmental Biology, University of Michigan)
- P-75-----
マウス piRNA トリマーPNLDC1 の機能解析
○宮川(倉持) さとみ¹、西村 徹²、永森 一平¹、泉 奈津子³、泊 幸秀³、仲野 徹^{1,2}
(¹大阪大学 医学研究科、²生命機能研究科、³東京大学 分子生物学研究所)
- P-76-----(学)
Ribosome profiling を用いた miRNA 作用機構の解析
○木村 悠介^{1,2}、小林 穂高¹、松浦 絵里子¹、岩崎 信太郎^{2,3}、泊 幸秀^{1,2}
(¹ 東京大学分子細胞生物学研究所、² 東京大学新領域創成科学研究科、³ 理化学研究所)
- P-77-----
MiR-664a-5p は神経分化誘導に重要である
○渡邊 和則、山路 隆平、大槻 高史
(岡大・院自然科学)
- P-78-----
ショウジョウバエのリソソームに局在する H⁺/Cl⁻交換輸送体 Clc-b は、dsRNA のエンドサイトーシスを介した RNAi 誘導に必要である
○田中 翼^{1,2,3}、瀬尾 陽子¹、大津 佐千子¹、反町 典子²、Katja Brückner³、中村 輝¹
(¹ 熊本大学発生医学研究所、² 国立国際医療研究センター、³ カリフォルニア大学サンフランシスコ校)
- P-79-----
線虫 CeR-2a RNA 遺伝子欠損の受精卵の形への影響
尾崎 大意¹、小山 昂志²、○牛田 千里^{1, 2}
(¹ 弘前大学、² 岩手大学大学院連合農学研究科)

P-80-----ⓧ

2種のターゲット mRNA による小分子 RNA ChiX の制御

○堀井 恭子¹、宗像 直輝²、山岸 拓矢¹、南 晴香¹、杉本 華幸^{1,2}、渡邊剛志^{1,2}、鈴木 一史^{1,2}

(¹新潟大院・自然科学、²新潟大・農・応生化)

P-81-----

出芽酵母を用いた tRNA イントロンの持つ生理的意義の解明

○林 紗千子、吉久 徹

(兵庫県立大学大学院生命理学研究科)

P-82-----ⓧ

乳酸菌 *Lactobacillus plantarum* の tRNA^{lle}(UAU) に対して親和性を持つ因子は存在するか

○榊原 健吾¹、富川 千恵¹、吉澤 聡子²、高井 和幸¹

(¹愛媛大学・院理工、²I2BC・CNRS)

P-83-----

大腸菌における小分子 RNA CsrB の半減期にあたる CsrD と炭素源の影響

天木 拓海¹、山田 竣太²、杉本 華幸^{1,2}、○鈴木 一史^{1,2}

(¹新潟大院・自然科学、²新潟大・農・応生化)

P-84-----

Hfq 結合性 sRNA の生合成におけるターミネーターヘアピンの役割

○森田 鉄兵、西野 良、饗場 弘二

(鈴鹿医療科学大学薬学部)

P-85-----ⓧ

Archaea RNA Ligase is Required for Circularizing Small Non-Coding RNA.

○Yancheng Liu¹, Yuko Takagi², Akira Hirata³, Hiroyuki Hori³, Katsuhiko Murakami⁴ and C. Kiong Ho^{1,2}

(¹University of Tsukuba, ²State University of New York at Buffalo, ³Ehime University, ⁴Pennsylvania State University)

P-86-----ⓧ

Effects of polyamines on the catalytic properties of a mutant *Tetrahymena* ribozyme lacking its large peripheral element

○Ara Mst. Gulshan, Shigeyoshi Matsumura, Yoshiya Ikawa

(University of Toyama)

P-87-----ⓧ

Expanding the RNA-RNA interaction interface in the *Tetrahymena* group I ribozyme and its application to RNA-nanostructure design

○Motiar Md. Rahman¹, Takahiro Tanaka², Hiroki Oi¹, Shigeyoshi Matsumura¹, Yoshiya Ikawa¹

(¹ University of Toyama, ² Kyushu University)

- P-88-----ⓧ
リボザイムシステムを用いた小分子を蛍光に変換する RNA コンバーターの構築
○前島 昂弥¹、鮎川 翔太郎²、清岡 隆司¹、松村 茂祥¹、木賀 大介²、井川 善也¹
(¹富山大学、²早稲田大学)
- P-89-----ⓧ
アプタマーと自己切断型リボザイムを基盤としたタンパク質応答性 mRNA スイッチの設計
○福屋 和真^{1,2}、小松 リチャード 馨^{1,2}、村田 隆³、古杉 隼人^{1,2}、横林 洋平⁴、山本 拓也²、齊藤 博英^{1,2}
(¹京都大学大学院医学研究科、²京都大学 iPS 細胞研究所 未来生命科学研究部門、³京都大学大学院理学研究科、⁴沖縄科学技術大学院大学)
- P-90-----ⓧ
改変型 RNase P によるナノ構造体形成および触媒機能の解析
○能澤 友梨¹、萩原 恵²、青山 理紗子²、松村 茂祥¹、井川 善也¹
(¹富山大学大学院理工学研究部、²富山大学理学部)
- P-91-----ⓧ
Adaptor modules for T-loop_PK RNA motif that enable us to apply the motif as a new assembly unit for RNA nanostructure design
○Sohanur Md. Rahman¹, Junya Ishikawa², Hiroyuki Furuta², Luc Jaeger³, Shigeyoshi Matsumura¹, Yoshiya Ikawa¹
(¹Department of Chemistry, Graduate School of Science and Engineering, University of Toyama, ²Department of Chemistry and Biochemistry, Graduate School of Engineering, Kyushu University, ³Department of Chemistry and Biochemistry, Biomolecular Science and Engineering Program, University of California)
- P-92-----ⓧ
CRISPR-Cpf1 における PAM 認識機構の解明
○山野 峻¹、西増 弘志^{1,2}、石谷 隆一郎¹、濡木 理¹
(¹東京大学大学院、²JST さきがけ)
- P-93-----ⓧ
ペプチジル tRNA 加水分解酵素・プロテアソーム輸送タンパク質複合体の X 線結晶構造解析
○市邨 晃久¹、笠原 杏子²、今井 大達¹、上原 祐二¹、西川 周一²、内海 利男²、伊東 孝祐²
(¹新潟大・院・自然科学研、²新潟大・理・生物)

P-94-----ⓧ

大腸菌 tRNA(Gm18)メチル化酵素(TrmH)の X 線結晶構造とその基質 tRNA 選択システム

伊藤 亜沙子¹、山上 龍太¹、○河野 陽¹、平田 章¹、堀 弘幸¹
(¹愛媛大学)

P-95-----

ピロリシル tRNA 合成酵素による寛容な非天然型アミノ酸認識の構造基盤

倉谷 光央¹、○柳沢 達男¹、関 英子¹、樋野 展正³、坂本 健作²、横山 茂之¹
(¹理研・横山構造生物学研、²理研・CLST、³阪大院・薬)

P-96-----

リボソーム小サブユニット依存 GTPase RsgA の構造解析

○竹本 千重¹、López-Alonso JP²、上西 達也²、菊地 岳志³、平田 侑也³、Iturrioz I²、Dhimole N²、Schedlbauer A²、長谷 要一³、後藤 史門³、栗田 大輔³、武藤 昱³、Zhou S²、直枝 智恵子⁴、Mills DJ⁵、Gil-Carton D²、姫野 俵太³、Fucini P²、Connell SR²
(¹理研 CLST、²CIC bioGUNE、³弘前大学、⁴昭和大学、⁵Max Planck Institute of Biophysics)

P-97-----ⓧ

HIV のゲノム RNA の 5'末端配列の 5'-UTR の構造への影響

○篠原 陽子¹、増田 貴夫²、河合 剛太¹
(¹千葉工業大学、²東京医科歯科大学)

P-98-----ⓧ

フルオロキノロン誘導体と RNA との相互作用解析

○長野 来南¹、大津 舞菜¹、徳岡 慎也²、上村 孝³、中村 慎吾³、河合 剛太¹
(¹千葉工業大学、²大陽日酸株式会社、³株式会社 Veritas In Silico)

P-99-----

二次構造予測から三次構造予測へ：検証と分子動力学シミュレーションを用いた応用

○亀田 倫史
(産総研・人工知能)

P-100-----ⓧ

超高速光架橋性核酸プローブを用いた RNA FISH 法の開発

○Zhiyong Qiu、狩野 千波、中村 重孝、藤本 健造
(北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科)

P-101-----ⓧ

Non-enzymatic photochemical cytosine deamination using ultrafast DNA photo-cross-linking toward for RNA editing

○Siddhant Sethi¹、Takashima Yasuharu¹、Shigetake Nakamura¹、Kenzo Fujimoto¹
(¹School of Materials Science, Japan Advanced Institute of Science and Technology)

- P-102-----
修飾核酸の分子動力学シミュレーション
○桜庭 俊¹、浅井 潔^{1,2}
(¹東京大学、²産業技術総合研究所(AIST))
- P-103-----
質量分析を用いた RNA 制御タンパク質同定技術の開発とその利用
○足達 俊吾¹、八田 知久¹、夏目 徹¹
(¹産業技術総合研究所 創薬分子プロファイリング研究センター (molprof))
- P-104-----
RNA 結合タンパク質によって標的される RNA 構造モチーフの推定
○三宅 博史¹、木立 尚孝¹
(¹東京大学)
- P-105-----
miRNA 応答型 ON スイッチの設計
○藤田 祥彦、齊藤 博英
(京都大学 iPS 細胞研究所)
- P-106-----
タンパク質応答型 RNA スイッチの機能改善戦略
○小野 紘貴^{1,2}、川崎 俊輔^{1,2}、松浦 理史^{1,2}、藤田 祥彦^{1,2}、齊藤 博英^{1,2}
(¹京都大学大学院医学研究科、²京都大学 iPS 細胞研究所)
- P-107-----
内在 mRNA 制御を目指した PUF タンパク質の認識 RNA 塩基数拡張
○篠田 昂樹¹、二木 史朗¹、今西 未来¹
(¹京都大学化学研究所)
- P-108-----
PPR 蛋白質を利用した RNA 操作技術の開発
○八木 祐介^{1,2}、中村 崇裕^{1,2}
(¹九州大学 農、²エディットフォース株式会社)
- P-109-----
RNA アプタマーを用いた新規骨再生材料の開発
○野村 祐介¹、福井 千恵¹、森下 裕貴¹、中村 義一^{2,3}、齋島 由二¹
(¹国立医薬品食品衛生研究所、²株式会社リボミック、³東京大学医科学研究所)
- P-110-----
Rational design of orthogonal gene transcription nano device on DNA origami
○Takeya Masubuchi¹、Hisashi Tadakuma²、Masayuki Endo³、Ryo Iizuka¹、Hiroshi Sugiyama³、Yoshie Harada²、Takashi Funatsu¹、Takuya Ueda¹
(¹The University of Tokyo、²Osaka University、³Kyoto University)

- P-111-----⊙
環状 RNA を用いた回転式翻訳によるタンパク質合成効率化
○児玉 亜有実¹、阿部 奈保子¹、友池 史明¹、木村 康明¹、伊藤 嘉浩²、松本 健²、吉田 稔²、清水 義宏²、亀田 倫史³、阿部 洋^{1,2}
(¹名古屋大学、²理化学研究所、³産業技術総合研究所)
- P-112-----⊙
転写共役条件での RNA 回路の動作とその検出
○石原 功太郎¹、井川 善也²、松村 茂祥²
(¹富山大学大学院理工学教育部、²富山大学大学院理工学研究部)
- P-113-----
塩基修飾と SHAPE 試薬を使用した RNA の構造解析
○鴨下 信彦¹
(¹自治医科大学病態生化学)
- P-114-----⊙
深層学習による RNA 二次構造予測
○秋山 真那斗¹、榊原 康文¹、佐藤 健吾¹
(¹慶應義塾大学)
- P-115-----⊙
ヒト ADARs の編集活性を利用した RNA 変異導入法の開発
○野瀬 可那子¹、野口 龍磨¹、星野 莉奈¹、増田 修樹¹、中川 裕之²、福田 将虎¹
(¹福岡大・理・化学、²福岡大・理・地球圏科学)
- P-116-----⊙
Comparative Activity of Adenosine Deaminase Acting on RNA (ADARs) Isoforms for Correction of Genetic Code in Gene Therapy
○Md Thoufic Anam Azad^{1,2}, Sonali Bhakta¹, Toshifumi Tsukahara¹
(¹School of Materials Science, Japan Advanced Institute of Science and Technology, ²University of Rajshahi)
- P-117-----⊙
Genetic code restoration by ADAR1 in Ochre (TAA) stop codon
○Sonali Bhakta, MD Thoufic Anam Azad, Matomo Sakari and Toshifumi Tsukahara
(Bioscience and Biotechnology, Japan Advanced Institute of Science and Technology)
- P-118-----
マウス亜種間のゲノム差異による発現変動解析
○栄徳 勝光¹、近藤 伸二²、鈴木 穰³、高田 豊行⁴、加藤 英政⁵、城石 俊彦⁴、菅沼 成文¹、清澤 秀孔^{1,6}
(¹高知大学、²情報・システム研究機構、³東京大学、⁴国立遺伝学研究所、⁵愛媛大学大学院、⁶千葉工業大学)